

特集

株式会社アピックス
ISMS認証取得について

大阪営業部 リーダー 濱辺 秀男

リソースマネジメント部

「CS向上の為に心がけていること」

リソースマネジメント部 リーダー 佐久間 正剛

制作本部

「TPS推進活動について」

制作本部 統括マネージャー 前田 拓哉

社内研修

「提案書作成研修」

管理部 リーダー 芝崎 友香

社員紹介

「より幅広い方と接したい」

東京営業部 上本 珠未

社長 Column

「芸は身を助ける？」

代表取締役社長 河村 武敏



特集 株式会社アピックス ISMS認証取得について

大阪営業部 リーダー 濱辺 秀男

2014年10月14日、当社はISMS認証の取得を致しました。ISMS認証とは「情報セキュリティマネジメントシステム」の略称で、ISO/IEC27001:2013で要求事項及び管理策が規定されているものです。また、ISO/IECは国際標準化機関であり、認証取得する事で世界的な信頼を得られます。

写真左:株式会社アピックス
代表取締役 河村 武敏
写真右:BSIグループジャパン株式会社
代表取締役社長 竹尾 直章

要求事項で求められているものは、主に下記のような事があります。

- 情報セキュリティ方針および目的の作成
- 経営陣のリーダーシップ
- 情報資産の機密性、完全性、可用性を維持・改善する為のプロセスアプローチ (PDCA)
- 管理策に対する適用宣言書の作成

本プロジェクトは、代表取締役社長の河村武敏がCISOを兼任し、CISO宣言・プロジェクトメンバー選出・取得スケジュールの作成を行いました。コンサルタント無しによる全社体制で、大阪本社・東京支店・データセンターを取得範囲とし、挑みました。

2014年5月10日東京支店、16日に大阪本社、各従業員へのISMS基礎教育を行い、そして認証機関BSIによるISMS初回第一段階審査、第二段階審査を受け、10月14日にISMS認証を取得致しました。

プロジェクトメンバーだけでなくアピックス従業員での取得のため、要求事項及び管理策、またPDCAの実施・情報セキュリティ方針及び目的の作成・マニュアル作成・適用宣言書作成・行動規範作成・情報リスクアセスメント・教育・想定訓練・運用レビュー会・内部監査・マネジメントレビュー・外部監査…とたくさんの取り組みを実施しました。それによって、社内体制の改善強化・意識改革・

物理的、技術的、人的対策の強化・社会的信頼の向上を得ることができました。

取得から半年が経ち、プロジェクトはISMS委員会となり、今年も5月16日に大阪本社、23日に東京支店にて基礎教育を行いました。

ISMS認証は取得して終わりではありません。日々変わる情報セキュリティに対応するため、常にPDCAサイクルを維持・改善する必要があります。

株式会社アピックスは、これからも情報資産を正確かつ安全に取扱い、お客様の信頼に応えるように努めて参りますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

「CS向上の為に心がけていること」



リソースマネジメント部リーダー 佐久間 正剛

お客様とより良い関係を構築するために、接客マナーやホスピタリティーコーディネーターの講習を受講し、現在担当サイトでは、そのように構築できていると思います。

CS向上の為に心掛けている事は、お客様よりもジョブの仕様を把握する、担当者が代わってもドキュメントオフィスに聞けば大丈夫と、お客様に思っただけのよう、仕事を覚えるようにしています。「お客様に言われた事を言われた通りにではなく、指示漏れや指示ミスをこちらから伝えることができる」「お客様の、お名前・内線・部署など、とにかくお客様に詳しくなる」「ミスを出さない」

特別な事ではありませんが、そのような心掛けて仕事をさせて頂いています。



TPS推進活動について

制作本部 統括マネージャー 前田 拓哉



当社でも、更なる生産性の向上を目指し、TPS（トヨタ生産方式）を取り入れる事になりました。TPSの基本思想とは、ムダの徹底的排除と、造り方の合理性を追求し、生産全般をシステム化する事です。

概念としては、「異常が発生したら機械をただちに停止して、不良品を造らない」という考え方（ニンベンの付いた自動化）と、各工程が必要な物だけを、流れる様に停滞なく生産する考え方（ジャスト・イン・タイム）の2つを柱としています。

今回、TPS推進活動プロジェクトでお世話になった外部の有識者には、この生産現場の「ムリ・ムダ・ムラ」を徹底的に無くし、良い物だけを効率良く造る、と言う要点を解り易くご教授頂き、目から鱗が落ちる発見の連続でございました。ご指導頂きまして本当に有難うございました。



(左)PJリーダー:寺元 (右)サブリーダー:住田

社内研修 「提案書作成研修」

管理部 リーダー 芝崎 友香

月に1度の土曜日の社内研修で、講師の方をお招きし、提案書作成研修(計4回)を、昨年より行ってきました。大阪本社・東京支店で各3チームに分かれ、それぞれ違ったテーマでお客様の心をつかめるような提案書作りに取り組み、実際にお客様へ提案を行って来ました。研修の場で提案書を発表し、その中で出た講師・他チームの意見を参考に、また各チームで集まっては話し合いを重ねるうち、チーム内の仲間意識、他チームへのライバル心が芽生

えつつ、話し合いにも次第に熱が入っていきました。そうして作り上げた提案書を携えて、研修の最終発表に挑みました。まだまだ課題はあり、満足のいく仕上がりとはまだはいきませんが、チームで力を合わせて作り上げた充実感を味わうことができました。

提案書作成研修としては今回で終わりですが、今後も提案内容をブラッシュアップし、お客様のお役に立てるような提案書になるよう、活動を続けていきます。



in troduction of staff -社員紹介-

「より幅広い方と接したい」

東京営業部 上本 珠未

今年5月で入社して1年となる、東京営業部の上本と申します。

前職は教育関係の職種でしたが、より幅広い方と接したいと考え、アピックスへ入社致しました。

業務内容は、お客様からの依頼を受注、制作部へ手配・仕様確認を行っており、電話・メール等で間接的に、やり取りさせて頂いております。

社内はもちろん、お客様から学ぶことも非常に多く、社会人として日々、成長できる今の環境に大変感謝しております。

営業事務としてアピックスとお客様の間に入ることが多いので、少しでも皆様のお役に立てるよう、若手社員として誰よりも明るく、積極的に取り組んでいきます。どうぞ宜しくお願い致します。



社長Column

【芸は身を助ける?】

社外報には、もっと発信できる内容があるはず!内容を2倍にしよう!と、言いたしっぺということで、今回より「社長Column」のコーナーを担当することになりましたので、まいどお付き合いくださいませ。

さてこのコーナーは「コラム」。googleつてみると…「新聞・報道雑誌・ニュースサイトなどに掲載される、ニュース以外の記事。つまり、個人的な分析・意見が含まれている記事…」とのことで、閑話休題!好きに書いてよいという解釈にて、今回は「芸」に関する話題を。

昔から「芸は身を助ける」とよく言いますね。これは「一芸を身につけておくと、いざと



いうとき生計を助けることもある」ということです。私にとっての「芸」は「play the music」であります。小さい時から「鍵盤」に



プロフィール

代表取締役社長 河村武敏

大学ではフュージョンバンドを結成し、キーボードを担当。

その後、アコースティックな管楽器にあこがれ、テナーサク스에目覚める。

株式会社アピックスの経営のかたわら、銀座、北新地でのライブ活動や社会人ビッグバンドではピアノとボーカルを担当。音楽活動をコミュニケーションの一環とし、経営にも取り込む。

携わり、大学時代もよからぬ目的で音楽教室に通い、またバンド活動全盛期で、当時のライブハウスや女子大のステージに出演したりと、好き放題。社会人になってからは、アコースティックに目覚め、サク스에30年ほど親しんでいます。40代の中ごろ

から、あるお店に御最前になる目的と、サクスを吹くのとちょうど歌えれば!という理由で、ジャズボーカルをプロの歌手に師事。そして今や社会人ビッグバンドで、鍵盤・サクス・ボーカルと、3つを受けもつ始末。ビッグバンドを勧めてくれた方は、名古屋の御同業の!社長、素晴らしいトランペッターです。ありがたや、ありがたや。

ジャズの世界は、どこも熟年の先輩方が多く、ジャズクラブでも素晴らしい方とたくさん

出会います。上場企業の役員様、大学の著名な先生方、多趣味なお医者様、プロのミュージシャン達と、様々なジャンルのプロフェッショナルな方と親交を深めています。

異文化の方とお話は、ビジネスの世界でも、考え方やスケールの違いが勉強になりますし、音楽は右脳を活性化し新しい発想が生まれます。「芸は身を助ける」は、わたし流に翻訳すると「ジャズは身を助ける」なんです。

今年、秋田県横手市出身の某メーカーのトロンボーンの方との縁で、8月に大阪から横手市まで出張演奏の機会があり、名古屋の御同業のトランペッター社長とも合流の予定。

仕事も音楽もこのような発想で広げていきたいものです。後日談は、次の機会に…。

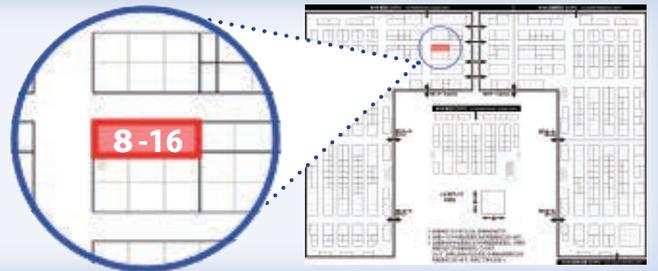


株式会社アピックスは、「第7回 販促EXPO」に出展します!

詳細は順次更新いたします ▶ <http://www.apix.co.jp/event/hexpo2015.html>

▼会場レイアウト図

日時 * 2015年7月13日(月) ~ 15日(水)
10:00 ~ 18:00
会場 * 東京ビッグサイト 西ホール1階
ゾーン * 印刷サービスゾーン
小間番号 * 8-16 ぜひ、弊社ブースへお立ち寄りください



6月になりました。今年も半分が過ぎようとしています!梅雨のジメジメが控えている今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか?

さて、お気付きかと思いますが、この度社外報がリニューアルいたしました。当初の「発信」「伝える」をもっとアグレッシブにと、試行錯誤してようやく発刊にこぎ付けました。ページが増え、レイアウトも大きく変革を遂げた、新生社外報「AP COMMUNICATION」をお楽しみください。 事業企画室 山本 航平



今号の1枚
東京支店 2F
リフレッシュスペース

APIX

株式会社アピックス

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町 1-2-2

東京支店 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 新富町堂和ビル

URL <http://www.apix.co.jp> E-mail info@apix.co.jp

TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296

TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296